

第1回新座市地域密着型サービス運営委員会 意見シート集計表

No.	資料	該当か所	御意見	御意見に対する考え（事務局）
1	資料1	運営推進会議の開催について コロナ禍における書面会議について	<p>資料1の補足説明でも、約半期を過ぎても開催されていない事業所があるようです。</p> <p>コロナ下での開催が困難であることから、書面会議による情報共有も可能とされている中でも難しい状況について、なぜできないのかの確認をお願いします。</p> <p>また、世の中全体のデジタル化が進んでいる中Zoomなどを利用した会議の推進も検討すべきと感じます。</p> <p>ただ、介護職員は高齢化の傾向もあり市の支援が必要です。</p> <p>デジタルであっても、顔が見える会議は書面会議と比べて優れている点も多く、また移動もないことで時間的にも有効と考えます。市の率先したリーダーシップに期待します。</p>	<p>10月20日時点で、未開催の事業所は4か所となっています。確認したところ、未開催の全ての事業所が10月末までに開催予定とのことでした。</p> <p>未開催の理由につきましては、失念していたという事業所もありましたが、多くの事業所は8、9月に開催を予定していたものの、コロナ対応に追われたため、遅れてしまったとのことでした。</p> <p>運営推進会議の開催については、感染防止対策を踏まえた開催方法として、書面会議だけでなく、オンライン会議についても検討するよう事業所に通知をしておりますが、今のところオンラインを活用した会議を採用している事業所はございません。</p> <p>要因の一つとしては、関係団体（事業所、市、包括）だけでなく、利用者家族、地域代表（町内会長、民生委員等）など、市民の方も出席する会議のため、導入が難しい状況であることが考えられます。</p> <p>オンライン会議についても開催方法の一つとして、コロナ禍においても年2回は必ず開催するよう、今後も指導してまいります。</p>
2	資料1	運営推進会議の開催について	<p>サービス種別によっては、各圏域に1か所ずつに満たない施設もあります。（ex.小規模多機能型居宅介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護など）</p> <p>そのような事業所の運営推進会議については、立地している圏域だけではなく、当面、サービス提供を想定しているエリアの包括もメンバーとして加わるべきと考えます（施設の広域的なPRにもなるので）。ご検討ください。</p>	<p>運営基準において、運営推進会議の構成員は、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、市町村の職員又は事業所が所在する区域を管轄する地域包括支援センターの職員、知見を有する者等とされており、市としても、これらの方々の出席を必須とするよう指導しております。</p> <p>サービス提供を想定しているエリアの地域包括支援センターの職員を構成員に加えることは、市内の数少ないサービスをより地域に開かれたサービスとし、施設の広域的なPRとしても有効であると考えますが、事業所の負担になることでもありますので、各事業所における検討事項とさせていただきたいと考えております。</p>
3	資料2	看護小規模多機能型居宅介護について	<p>これまで新座市には小規模多機能型居宅介護はありましたが、看護小規模多機能型居宅介護の応募が堀ノ内病院様より出されたことよかったですと思います。</p> <p>今後採用がされれば、医療依存度の高い方や退院直後で状態が不安定な方たちが住み慣れた自宅で暮らすことが可能になります。</p> <p>新座市でも早く、看護小規模多機能型居宅介護が利用できることよいと思います。</p>	—
4	資料2	看護小規模多機能型居宅介護について	<p>1団体から応募があったとのこと、大変心強く感じました。「看護」も含まれているため、これまでの認知症支援だけではなく、在宅重度療養者のケアや在宅ターミナルケアの体制が整うものと期待しております。</p> <p>整備に向けて、前向きにご検討ください。</p>	—
5	資料3	市外の地域密着型サービス利用の手続き簡略化について	<p>手続き自体の簡略化については、大変助かる仕組みだと思いました。</p> <p>「やむを得ず」市外のサービスを利用せざるを得ないという理由・背景の「中身」の精査により、逆に、市内に何が不足しているのかを見極めることができるかと思えます。</p> <p>今後、当手続きを行う事例の積み上げと分析が重要だと感じました。</p>	<p>市外のサービスを利用せざるを得ない理由及び背景の精査につきましては、これまでどおり継続してまいります。</p> <p>隣接市区町村との協定締結は初めてであり、県内の近隣市町村では事例がないことから、まずは協定による効果を見極めながら、進めてまいります。</p>